

令和2年11月4日

保護者の皆様

岐阜市立島小学校

校長 宇留野 博美

## 保護者文書のデジタル配信について（お願い）

深冷の候、日頃は、本校の教育活動にご協力・ご支援をいただき、ありがたく御礼申し上げます。

さて、表題については、先月末、文部科学省から、子供を介するためトラブルが起こりやすい学校と保護者との文書連絡について、メール配信システムの活用などデジタル化するよう求める通知が出され、あわせて保護者が押印する書類が多いこともデジタル化の障壁になってきたとして、脱はんこの取り組みも促しました。

学校現場では、各種お便りや出席や希望調査等さまざまな文書・書類を保護者へ配付、または回収してきましたが、文科省はデジタル化すれば、教職員が授業の合間に印刷して配付したり、回収・集計の手間が掛からなかったりと、働き方改革にもつながるとしています。

また、大規模校の本校では、全校配付、地域配付となると、1000枚以上の印刷物を作成し、仕分けして配付していますので、職員作業時間とともに大量の紙と印刷用インク（トナー）等のコストがかかっている現状です。

今年度は、感染症対策のために、消毒液等や設備に多額の経費が必要でしたので、コスト縮減も大きな課題となっています。右記、共同通信社報道のメリットを考え、今後、欠席・遅刻等の電話連絡等もデジタル化がされていくと考えられますが、これについては、市町の予算措置が必要な施策ですので、市での取組が待たれることです。

以上の状況を勘案し、本校では、以下のような取り組みを令和3年1月より、行いますので、ご家庭の皆様にお知らせし、ご協力のお願いをいたします。

以上を勘案し、本校では、以下のような取り組みを令和3年1月より、行いますので、ご家庭の皆様にお知らせし、ご協力のお願いをいたします。

学校連絡デジタル化のメリット		
	現在	デジタル化後
保護者向けアンケート	子どもが持ち帰り、保護者が記入して提出。教員が結果を集計	教員による催促以外は自動化
欠席・遅刻の連絡	保護者が近所の子に連絡帳を預けたり、学校に電話したりする	保護者が専用フォームに入学。学校全体で情報共有し、きめ細かいフォローが可能
学校便り	印刷し、子どもを介して配布。保護者への渡し忘れも	保護者に直接配布でき、印刷などの手間が省ける。紙も節約

<共同通信より>

<デジタル配信文書と紙媒体配付文書との仕分け 令和3年1月より> ※HP・・・ホームページ

1. デジタル配信でHP掲載の上、HP掲載を保護者メールでお知らせする文書（お便り等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だより ・学年、学級便り※1 ・学校アンケート（無記名なもの）</li> <li>・その他学校からの様々なお知らせ文書</li> </ul>
2. 紙媒体で従来通り、印刷して、お子様に配付して持ち帰っていただく文書（お便り等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、学級便りのうち、子供たちに直接配付して、子供たちに説明する文書</li> <li>・個人情報の記入を必要とする文書 ・その他デジタル配信では不適切と考えられる文書</li> </ul>
<p>※1 学年・学級便りにおいて、週時間割予定表等、家庭で掲示した方がよいものについては、しばらくの間は、家庭での印刷環境を考慮して、紙媒体配付を行います。</p> <p>※ 年末に、聞き取りを行い、HP視聴機器、通信手段がないご家庭にも紙媒体配付をします。</p>	